

福島大学の概要 及び業務内容

◆概要

◆事務組織と業務内容

◆教育目的・理念、取り組み

◆求める職員像

◆第2次試験

福島大学人事課

◆概要

福島大学は、2019年に創立70周年を迎え、食農学類の新設と既存4学類の再編、そして教育改革からなる「三位一体の改革」を行い「新生福島大学」に生まれ変わりました。

令和5年度には、食農科学研究科の新設に加え、イノベーション人材の育成を目指して大学院を一新します。



【設 立】

昭和24年5月（平成16年4月～国立大学法人へ）

【組 織】

教育上の組織（3学群5学類）（4研究科）

「人文社会学群」人間発達文化学類、行政政策学類、経済経営学類、
「理工学群」共生システム理工学類、「農学群」食農学類、4研究科

研究上の組織（8学系）

教育学系、地域文化・言語学系、健康・運動・心理学系、法・行政・社会学系、
経済・経営学系、自然科学・情報学系、応用理工学系、生物・農学系

その他組織

・附属図書館 ・2機構 ・8センター ・2研究所 ・附属4校園 ・事務局

【教職員数】（令和4年5月1日現在）※非正規職員を除く

・役員8名 ・大学教員231名 ・附属教員86名

・事務系職員 130名

【学生数】（令和4年5月1日現在）

・学類生、大学院生 4,325名

・児童、生徒、園児 1,161名



◆事務組織と業務内容

◆福島大学では、教育研究組織の再編や地域課題などに対応するため、事務機構改革をその都度行っています。近年では、食農学類支援室及び大学院改革室の新設、研究・地域連携課の改編を行いました。

◆業務は、主に総務系、財務系、教務・学生系、研究協力系、学術情報系、施設系に分かれています。行事・イベントなど、全学で連携・協力して行う業務もあります。

課・室等	
	学長室
	監査室
事務局	総務課
	校友会・基金支援室
	大学院改革室
	人事課
	財務課
	施設課
	教務課
	学生・留学生課
	キャリア支援課
	入試課
	研究・地域連携課
	学術情報課
	学校臨床支援センター事務室
	附属学校園支援室
	行政政策学類支援室
	経済経営学類支援室
	共生システム理工学類支援室
	食農学類支援室
	環境放射能研究所事務室

◆福島大学の教育目的・理念

福島大学は学生教育を重視し、全学年にわたる少人数教育を展開しています。

「福島大学ミッション2030」において、「地域とともに21世紀的課題に立ち向かう大学」と定義し、「解のない問いにチャレンジできる人材」を育てることを目的に掲げています。

- 学生の自由で自立的な学びを重視
- 地方だからこそ、学べることがある

福島大学ミッション2030概要

(2020年10月)

- * **大学改革の進め方**
長期的に持続可能な新しい大学への転換をめざし改革を推進
- * **教育のあり方**
地域の現状・課題と大学での学びを重合、地域実践型プロジェクト学習を拡大
- * **研究のあり方**
地域課題・21世紀的課題に対応した基盤的研究を政策的に強化、既存の学類・研究科の研究の「強み」を明確化
- * **地域貢献のあり方**
地域社会に新しい形を提案し、10年後を見すえた地域の在り方を追求
- * **組織・運営のあり方**
「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学」としての教育・研究・地域貢献を可能とする新たな教育研究組織を構築

◆大学の取り組み

～地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学～

東日本大震災および原発事故以降、被災地の復興支援を続け、そこから得た学びを「新しい地域社会づくり」へと活かそうとしています。加速化する21世紀的課題に即した研究の複合化、「解のない問い」に果敢に挑み社会に変革をもたらす人材の育成を行い、地域づくりの要としての役割を果たします。



↑
福島大学マスコットキャラクター
「めばえちゃん」

取組み事例

- 地域未来デザインセンターを設置し、人口減少・少子高齢化、地域の疲弊などの課題に正面から向きあい、デザインという切り口で「新しい社会のあり方」を示す
- 「福島での課題解決」に結びつく研究を、重点研究分野「foRプロジェクト」に指定し、震災や原発事故による深刻な地域課題の解決に向け、研究が加速することを期待
- 「環境放射能研究所」(IER)による環境放射能の動態解明
- 「ふくしま未来学」による地域づくりを目指す実践的教育
- 「発酵醸造研究所」設置による発酵醸造の研究拠点創り

◆求める職員像

- * 将来を見通した広い視野と明確な根拠を持って企画立案する職員
- * 常に問題意識を持ち、自ら考え、主体的に課題に取り組む職員
- * 経営意識(コスト意識)を持ち、効率的かつ効果的に業務を遂行する職員
- * 業務に必要な情報の収集、知識の習得を積極的に行う職員
- * 組織内のコミュニケーションをとり、良好な関係を構築する職員

《教育重視の人材育成大学》

福島大学職員はこのような職員を目指しています。

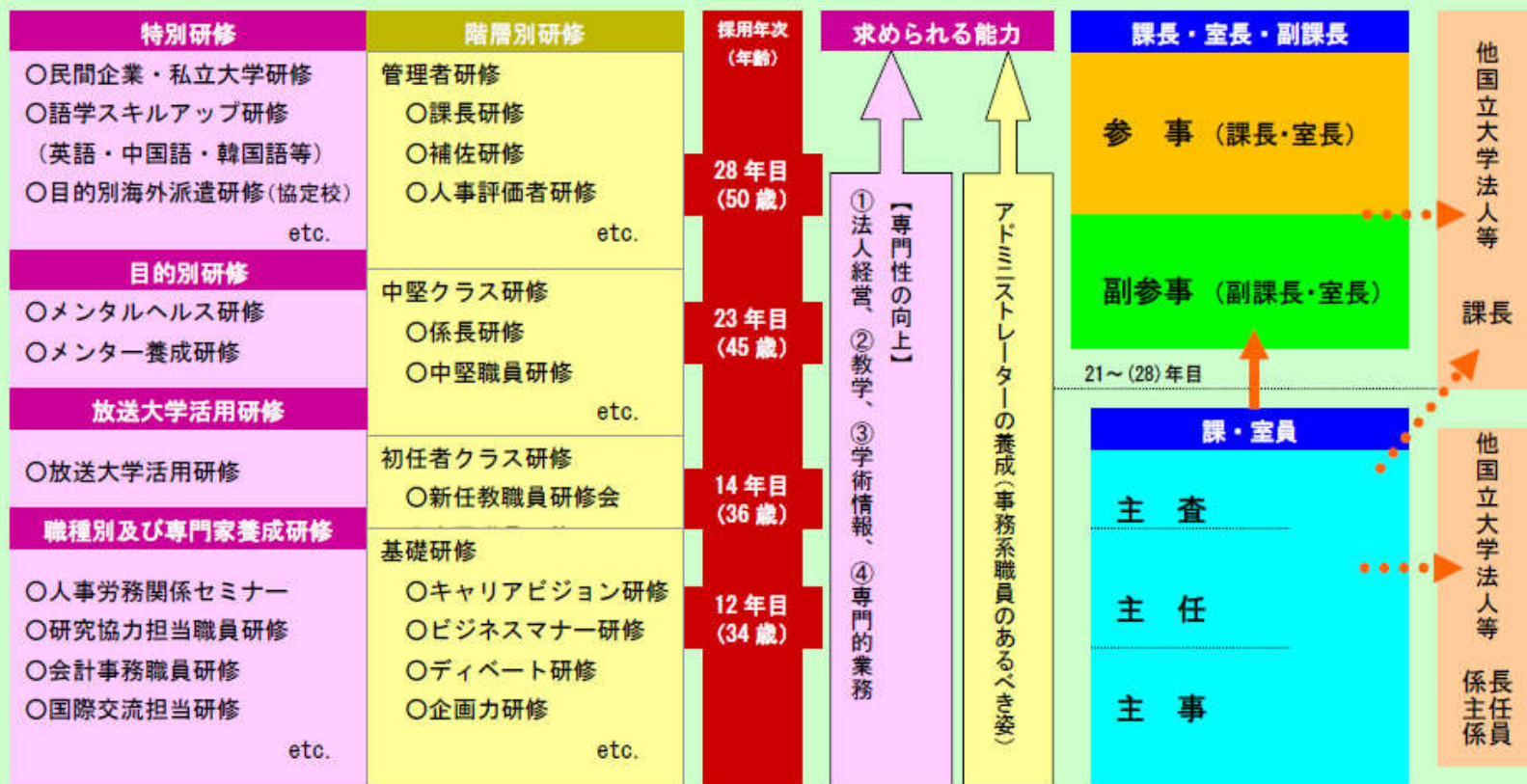
All For Students

～共に成長する職員～

- * 一歩先をみよう！
- * 失敗を恐れず何事にも挑戦しよう！
- * 時間の使い方を工夫しよう！
- * 常に学ぶ姿勢を持とう！
- * ありがとう、感謝の気持ちを伝えよう！



福島大学事務職員のキャリアパス例



※この表は、あくまでも一例であり、本人の勤務成績や希望により変わります。

◆ 2次試験

【東北地区国立大学法人等職員採用試験】

第1次試験合格発表→合同説明会

→第2次試験（福島大学）

— 令和4年度の予定 —

【事務】

◆第1次選考（WEB）

* 1グループ3名～5名程度で集団面接

◆第2次選考（対面）

* 第1次選考合格者に対する個別面接

【施設系技術職員（機械）】

◆対面による個別面接

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、WEBでの個別面接に変更になる場合があります。

◆最後に

ーキャンパスが一つにまとまっていて、
コンパクトであることを強みにー

- * 他部局との交流が容易で、わからないことは直接出向いて見聞きすることができます。
- * 職員同士の顔が見えるので、仕事に活かせるだけでなく、レクレーションや職員サークルなどアットホームな雰囲気があります。

あなたも福島大学で
輝いてみませんか！